作成日：　　2010 年 9 月 24 日
改訂日(V.3)：　2016 年 4 月 6 日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製品名：　　**ムソウ１キロ粒剤**

会社名：　　日本農薬株式会社
住　所：　　〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋ＯＭビル
担当部門：　　環境安全部
TEL. 03-6361-1426,　FAX. 03-6361-1451
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号：(平日)　　03-6361-1426（環境安全部）
(休日、夜間)　04-2929-8961（ＡＬＳＯＫ）

用途及び使用上の制限：農薬(除草剤)、農薬登録以外の使用は不可
ＭＳＤＳ番号：　５３３－０３(Ｍ１０－１６)

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	水反応可燃性化学品	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性･刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性･刺激性	区分２Ｂ
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分１Ａ
	生殖毒性	区分２
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分１(呼吸器系)
		区分２(神経系)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分１(呼吸器系、腎臓)
		区分２(血液系)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分１
	水生環境有害性(慢性)	区分１

上記で記載がない危険有害性は､分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示



注意喚起語　　危険

危険有害性情報　　眼刺激
発がんの恐れ
生殖能または胎児への悪影響の恐れの疑い
臓器(呼吸器系)の障害
臓器(神経系)の障害の恐れ
長期または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
長期または反復暴露による臓器(血液系)の障害の恐れ
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】

- ■ 使用前に取扱説明書を入手し、安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ■ 粉塵を吸入しないこと。
- ■ 取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
- ■ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ■ 必要な時以外は環境への放出を避けること。

【対応】

- ■ 気分が悪いときは医師の診断を受けること。
- ■ 暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断を受けること。
- ■ 眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は医師の診断を受ける。
- ■ 漏出物は回収すること。

【保管】

- ■ 涼しく換気の良い場所に施錠して保管すること。

【廃棄】

- ■ 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

その他の危険有害性：特に無し。

３．組成，成分情報

単一製品･混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

1) （ＲＳ）-2'-[(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)(ヒドロキシ)メチル]-1,1-ジフルオロ-6'-(メトキシメチル)メタンスルホンアニリド（一般名 ピリミスルファン）
2) 2-ベンゾチアゾール-2-イルオキシ-Ｎ-メチルアセトアニリド（一般名 メフェナセット）

成分及び含有量：

成　分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ピリミスルファン	0.5%	221205-90-9	―	―
メフェナセット	12.0%	73250-68-7	8-(7)-827	―
		化管法第一種指定化学物質		
<その他>				
結晶質シリカ(石英)	40.0%	14808-60-7	既存物質	(1)-548
		安衛法通知対象物(2016年6月1日から安衛法表示･通知対象物)		
鉱物質微粉等	残	―	―	―

４．応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。異常がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴等は速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水またはぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。
メフェナセットの皮膚症状には、抗炎症剤の投与が有効である。

吸入した場合：　被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。
メフェナセットによる中毒の対応としては、胃洗浄、メトヘモグロビンの防止にはアスコルビン酸の投与、または 1%メチレンブルー溶液の静注が有効である。

５．火災時の措置

消火方法：　初期の消火には粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：　水、強化液、泡、不活性ガス消火器、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

使ってはならない消火剤：情報なし。

消火活動上の注意：燃焼または高温により有毒なガスが生成する恐れがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

６．漏出時の措置

作業者に対する注意：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具(暴露防止措置欄参照)を着用し、粉塵等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。

環境影響に対する注意：流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

漏出物の処理に対する注意：粉塵が飛散しないよう注意して掃き取り、密閉できる容器に回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意：取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散が無いようにし、みだりに粉塵を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗う。

火災･爆発の防止：通常の保管方法で問題なし。

保管上の注意：　直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気･熱源から隔離する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

８．暴露防止及び保護措置

許容濃度：　日本産業衛生学会及びＡＣＧＩＨのいずれも設定されていない。

設備対策：　取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。

個人保護具：　状況に応じた適切な保護具を着用する。防塵マスク、簡易防塵マスク、保護手袋(ゴム手袋)、保護メガネ(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型)、保護衣(作業着、帽子、保護服)
作業時に使用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

９．物理的及び化学的性質

外観：　類白色細粒
臭気：　データ無し。
pH：　8.8(20%水懸濁液)
融点･凝固点：　データ無し。
沸点･初留点及び沸騰範囲：データ無し。
引火点：　データ無し。
発火点：　データ無し。
燃焼性：　データ無し。
燃焼又は爆発範囲：データ無し。
蒸気圧：　データ無し。
蒸気密度：　データ無し。
密度･比重：　0.98
溶解度：　データ無し。
オクタノール／水分配係数：データ無し。
分解温度：　データ無し。
粘度：　データ無し。

１０．安定性及び反応性

安定性：　通常の保管条件下では安定。
危険有害反応可能性：データ無し。
避けるべき条件：データ無し。
混触危険物質：　データ無し。
有害な分解物：　データ無し。

１１．有害性情報

急性経口毒性：　ラット LD_{50} 値(mg/kg)　♂,♀ ≥2000
急性経皮毒性：　ラット LD_{50} 値(mg/kg)　♂,♀ ≥2000
急性吸入毒性(粉塵)：データ無し。
急性吸入毒性(蒸気)：データ無し。
皮膚刺激性：　ウサギ　刺激性無し。
眼刺激性：　ウサギ　軽度の刺激性
呼吸感作性：　データ無し。
皮膚感作性：　モルモット　陰性
生殖細胞変異原性：データ無し。
発がん性：　石英についてＩＡＲＣ６８(1997)は１、ＮＴＰはＫ、産業衛生学会勧告は１に分類しており区分１Ａとした。
生殖毒性：　メフェナセットについて、ＩＵＣＬＩＤ(2000)、ＲＴＥＣＳ(2006)の記述から、親動物での一般毒性に関する記載はないが、児動物の発生への影響(胎児死亡、筋骨格系の異常)がみられることから、区分２とした。
特定標的臓器毒性(単回暴露)：
ピリミスルファンについて区分２(神経系)、石英について区分１(呼吸器系)。

特定標的臓器毒性(反復暴露)：
メフェナセットについて区分２(血液系、腎臓)、石英について区分１(呼吸器系、腎臓)。
吸引性呼吸器有害性：データ無し。

１２．環境影響情報

生態毒性

コイ	LC_{50} 値/96hr(mg/L)	>1000
オオミジンコ	EC_{50} 値/48hr(mg/L)	>1000
藻類	EC_{50} 値/72hr(mg/L)	0.505

残留性/分解性：　データ無し。
生態蓄積性：　データ無し。
土壌中の移動性：データ無し。

１３．廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

１４．輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備えるほか、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連部類：クラス９(有害性物質)
国連番号：３０７７(環境有害物質、固体)

１５．適用法令

農薬取締法
毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。
労働安全衛生法
表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条)：

表示対象物	2016.5.31 まで(改正法施行前)	2016.6.1 から(改正法施行後)
結晶質シリカ (石英)	ー	政令番号 312 (対象となる範囲 0.1%以上)

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)：結晶質シリカ(石英)(政令番号 312 シリカ)
化学物質排出把握管理促進法(化管法)
指定化学物質： メフェナセット(第一種･政令番号 402)

１６．その他の情報

参考文献

1) 製品安全データシート｢ムソウ１キロ粒剤｣(クミアイ化学工業株式会社 2010 年 9 月 22 日作成)

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。